

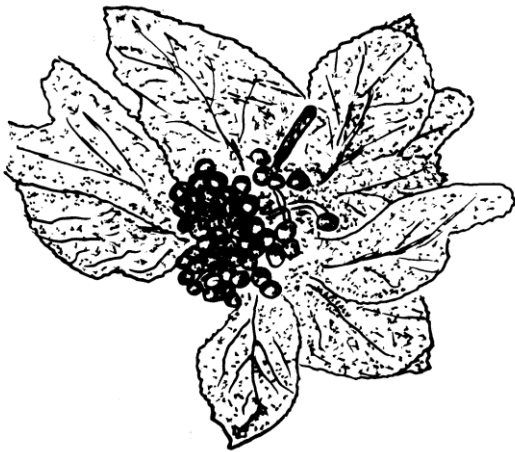
緑のセンターだより

NO. 139 平成 22 年 10 月 1 日 発行

発行元: (財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ガマズミ (莢蒾)

スイカズラ科 ガマズミ属

Viburnum dilatatum

ガマズミ属は北半球の温帯から暖帯に広く分布しています。東南アジアや南アフリカの高地にも分布し、とくに東アジアと北アメリカに多いです。約 120 種が分布しており、うち日本には 30 種余りがあります。中国大陆にも多く、40 種ほどを数えるそうです。落葉または常緑の低木ないし小高木で、葉は対生に着きます。

花は円錐ないし散房状花序に着きます。花色は通常白色でときに桃色や芳香を放つ種もあるようです。果実は石果で赤、青色に熟するものが多く、花、果実ともに観賞価値が高いものが多くあります。

ガマズミ(*Viburnum dilatatum*)は、北海道から九州にかけて、朝鮮半島を経て中国中部に分布します。丘陵地や山地などの環境に良く生育します。形態は、落葉性の低木で 2~4m に達します。葉は円形ないしは広卵形で低い鋸歯があります。葉の長さは、6~14 cm あり秋にはやや紅葉します。花序は径 6~10 cm、花冠は径 5 mm くらいで白色です。

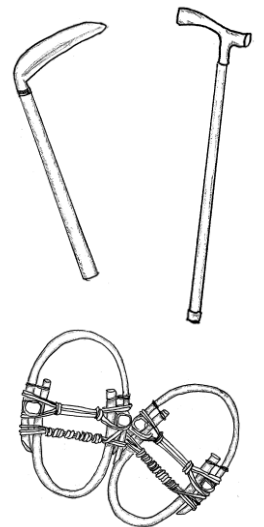
花期は 5~6 月で、果実は 10 月に熟して真っ赤に色づき、澄んだ秋空に美しく映えます。花よりも房状の果実の方が、観賞価値が高いようです。品種としては、キミノガマズミがあり果実は黄色に熟します。

近い仲間に、カンボク、テマリカンボク、オオカメノキ、ミヤマガマズミなどがあります。特にミヤマガマズミ(*Viburnum wrightii*)は、ガマズミに非常に似ており、主な相違点は、葉の縁にある鋸歯が牙のように鋭いことや、果実がガマズミのやや平たい卵形に対し、ミヤマガマズミは卵形を呈します。また、生育場所は山地の林内が多いようです。

ガマズミの名前の由来は、昔は幹や枝を、鎌の柄に使っていたことから「カマ」が、赤い果実を染料の原料としていたことから「ゾメ」がつき、さらにガマゾメが転訛して、ガマズミになったと言われています。

用途としては、器具材(杖、鎌の柄、輪かんじき、小鳥の餌木)、染料、公園樹、盆栽、花材、庭木、しなやかな樹皮を使って縄代わりやザルの縁木、嗜好品(果実酒、ガマズミポン酢)、また、薬効として利尿、疲労回復(またぎの非常食)などに利用されます。

(M・T)



10月の園芸作業

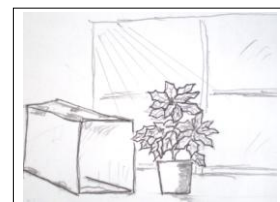
このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00
 ☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
 ☆百合が原公園 772-3511 木曜、日曜
 ☆平岡樹芸センター 883-2891 水曜、土曜

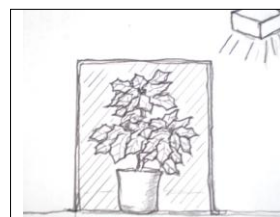
◆鉢花の短日処理

ポインセチア、カランコエ、シャコバサボテンなどは開花に一定の短日条件が必要なので、「短日植物」と呼ばれます。入室後に室内の照明のため短日条件が満たされなかった場合、これらの植物は花芽ができず開花しません。そこで、人為的に明るい時間を短くして(短日処理)やります。具体的には夕方5時から翌朝8時まで段ボールなどで覆い、明るい時間を9時間以下に制限します。日中はできるだけ陽に当てるようにして下さい。暗さと明るさのギャップがはっきりすると効果が高くなります。植物の種類によって処理日数や期間、処理中の管理温度などが異なります。参考までに下表に示します。

シャコバサボテンは9月末頃から自然の短日の影響を受けるので、11月頃には開花してしまうことがあります。しかし、早めに入室した株は室内の照明により短日条件が満たされていないので、上記のように短日処理をして下さい(いずれも蕾が見えたら処理を終え、普通管理にします)。



朝8時、覆いを取って
陽に当てる。



夕方5時、ダンボール
などで覆う(遮光)。

《参考例》

管 理 種 類	短日処理 必要日数	処理開始から 開花までの日数	処理中の 管理温度	短 日 処 理 例			
				9 月	10 月	11 月	12 月
ポインセチア	60～70 日	80～90 日	20～25℃	開始		終了	開花
シャコバサボテン	25～30 日	50～60 日	10～15℃		開始	終了	開花
カランコエ	35～50 日	60～70 日	15～20℃		開始	終了	開花

※ 処理期間中、日中はよく陽に当てる。水やりは乾燥させないよう十分与えるが、肥料は控える。

◆菜園の後かたづけと来年の準備

【清掃】 作物の収穫も終盤を迎え、後かたづけを迎える時期になってきました。残渣物をそのまま畑に放置すると翌年の病害虫の発生源になります。

ウドンコ病、灰色カビ病など多くの作物を侵すカビ病は、茎葉で冬を過ごし翌年の作物を侵します。

ナスなど多くの作物を侵す半蒴萎ちょう病菌、ハクサイ、キャベツなどに付く根コブ病菌、センチュウの卵などは土の中で数年間生存します。茎・葉・根などの後かたづけを行なわないと菌・卵が増殖し、密度がより高くなることから連作障害を引き起こし易くなるので適切に処理してください。

使用した手竹(支柱)などの資材も洗うか、殺菌剤で消毒して保管します。

【堆肥・土壌改良材の施用】

堆肥や、石灰などの土壌改良材を散布する計画のある場合は秋に散布し、秋起こしをしておく事をお勧めします。

春に施すと作付けまでに施用した物が馴染まず、根に障害を引き起こす事があります。秋に施用しておけば土に馴染み春の障害が少なくなります。

【石灰散布の注意】

札幌市内での家庭菜園の土は7～8割位が石灰過剰になっています。石灰を散布するときはpH測定キット(ホームセンターで入手可)でpHを調べ、本当に畑に石灰が必要なのか見極めてから施用して下さい。

石灰過剰でpHが高くなりすぎると微量元素が欠乏し、生育が悪くなります。

◆紅葉のお話

植物の葉の葉緑素は、太陽光を使ってでんぷんを作り、夜になるとそれを糖分に変えて植物体内に送りますが、気温が下がってくるとこの働きは鈍ってきます。さらに、気温の低下とともに葉柄のつけ根の部分に離層と呼ばれるコルク層が形成され、葉と茎の間で水や養分の流れが悪くなります。その結果、光合成によって作られた糖は、葉に蓄積され、これからアントシアン(アントシアニン)という赤い色素が作られます。

一方、葉緑体の中には緑色の色素クロロフィルのほかにカロチノイドという黄色の色素が含まれています。クロロフィルの量はカロチノイドの8倍もあり、春から夏の成長期には葉は緑に見えます。秋になって、日照時間が短くなると、クロロフィルが分解されて、緑色が消え、隠されていたカロチノイドの黄色が表に出てきます。紅葉する植物も、黄葉する植物もこの段階までは同じです。

植物の中には、イチョウのようにクロロフィルが壊れて黄色になるだけで、アントシアンを作られないものがあります。これらの植物は黄葉し、アントシアンを作るものは紅葉します。また、アントシアンは単一のものではなく、フロバフェンというタンニン系の色素(褐色)のほかに、いくつかの色素がいろいろな割合で混じりあっています。植物の種類により、変化の過程の中で赤、橙、褐色と様々な色が形成されるものと考えられます。1枚の葉の中にもアントシアン、カロチノイド、クロロフィルなどの色素が混じりあって赤や黄色、緑の模様が描かれると考えられています。

紅葉(黄葉)は、最低気温が8℃以下になるとしだいに色づき始め、5～6℃以下になると急速に色づきます。従って、晴天の日が続く、日中の気温が高く、夜間冷え込みがきびしい年には、美しい紅葉が見られます。また、夏暑く、日照時間が長いと、秋の紅葉は美しいという説がありますが、今年は、皆さんの周りの紅葉はいかがでしょうか？

紅葉する樹木

ナナカマド、ヤマモミジ、ミズキ、
エゾヤマザクラ、ヤマウルシ、
マユミ、ツリバナ、ニシキギ、
ドウダンツツジなど



黄葉する樹木

イチョウ、カツラ、イタヤカエデ、
ポプラ、トチノキ、シラカバ、ブナ、
ケヤキ、アサダ、ハリギリ、
カラマツなど



褐色になる樹木

コナラ、ミズナラ、クリ、
クヌギ、カシワなどの
ブナ科の落葉樹に多い。

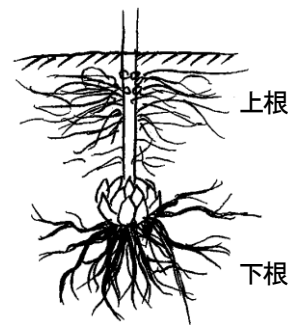


◆ Q & A ◆

Q ユリの球根を新たに購入して植えつけたいと思っていますが、いつ頃、どのように植えつけたら良いのでしょうか。また、3年前に植えつけた球根はそのままよいのでしょうか。(東区 Aさん)

A ユリの球根の植え付けの方法はこのようになります。

1. 植え付け時期: 10月上旬～降雪前まで
2. 植え付け場所:
 - ・日当たりが良く、水はけの良い場所・・・テッポウユリ、オニユリ、交配種のオリエンタル系、アジアンティック系
 - ・半日陰で、水はけの良い場所・・・カノコユリ、ヤマユリ、オトメユリ
3. 植え床: 堆肥、腐葉土、リン酸分の多い化成肥料を散布し、深く耕します。
4. 植え付け:
 - ・ユリの球根は、鱗茎といわれるもので、葉が変化した鱗片に養分を蓄えています。球根の下だけでなく、伸びだした茎からも根を出します。それぞれ下根、上根と呼ばれています。
 - ・下根は球根を固定し、2～3年生存します。上根は養水分を吸収し、地上部の茎が枯れると共に枯死します。したがって、ユリの球根は球根3個分程度の深植えにしたほうが上根が良く発達し、成長も良くなります。コンテナ植えの場合も大きめのものに深く植えるようにします。
5. 植え替え:
 - ・庭植えの場合は2～3年に1回掘り上げて植え替えます。
 - ・コンテナ植えの場合は毎年植え替えます。
 - ・掘り上げ後水洗いし、腐った鱗片や根を取り除き、殺菌剤のトップジンM水和剤などの500倍液に数分間浸漬して消毒し、乾かさないうちにすぐ植えつけます。
6. 追肥
 - ・春雪解け後と花後に、油粕、速効性化成肥料などを追肥します。



10月～11月の催しのお知らせ

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
セントポーリアの育て方	10月9日(土)	13:30～	9/11(土)～	無料
冬囲いの仕方	10月31日(日)	13:30～	10/11(月祝)～	無料
家庭でカンタン堆肥作り	11月7日(日)	13:30～	〃	無料
展示会				
セントポーリア展	10月5日(火)～10月11日(月祝)		北海道セントポーリア愛好会	入場無料
ミニ盆栽展・山草展	10月9日(土)～10月11日(月祝)		札幌草樹会	
さつき 秋季展	10月13日(水)～10月17日(日)		札幌さつき会	
秋の風流盆栽展	10月22日(金)～10月24日(日)		風流盆栽会	
菊花展	10月26日(火)～10月31日(日)		札幌菊花同好会	
自然教室				
秋の観察会	10月16日(土)	10:00～	10/11(月祝)～	100円
クラフト教室				
押し花アート体験会 ポストカード	10月20日(水)	13:30～	10/11(月祝)～	1,000円
あけび工房 みずきのランチバスケット	10月27日(水)	10:00～	〃	2,000円

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
樹木の冬囲い（高木）	10月16日（土）	10：00～	10/11（月祝）～	300 円
樹木の冬囲い（低木）	10月16日（土）	13：30～	〃	〃
フジ・ブドウの剪定	10月24日（日）	10：00～	〃	〃
		13：30～	〃	〃
クラフト教室				
テーブルフラワーアレンジメント	10月14日（木）	10：00～	9/11（土）～	3,500 円
あけび工房 ふじづるのガーデントレイ	10月23日（土）	10：30～	10/11（月祝）～	2,000 円

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

展示会	日		料金		
秋の植物展	9月28日(火)～11月7日(日)		大温室入館料 130 円		
講習会	内容	日	時間	申込開始	費用・備考
紅葉の世界の庭園ツアー		10月16日(日)	10：30～	9/11(土)～	130 円
樹木の冬囲い		10月24日(日)	10：30～	10/11(月祝)～	300 円

その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先	
小りす工房おとなの日 「木の実のアレンジボード」	10月14日(木) 10:00～	500円・要事前申込	西岡公園	582-0050
小りす工房こどもの日「森のカレンダー」	10月17日(日) 13:00～	300円・要事前申込	西岡公園	〃
平岡公園 ツリーウォッチング	10月13日(水) 9:30～	無料・当日第1駐車場集合	平岡公園	881-7924
平岡公園 野鳥観察ツアー	10月30日(土) 10:00～	無料・要事前申込	平岡公園	〃
中島公園 見どころ探訪ツアー	10月10日(日) 13:00～	無料・要事前申込	中島公園	511-3924
滝野の森トレッキングツアー	10月24日(日) 10:00～/13:30～	参加費50円 各回要事前申込 別途入園料・駐車料金	滝野公園	594-2222

豊平公園 緑のセンター 公式ウェブサイト <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

※「緑のセンターだより」バックナンバー公開中 ※